

## 平成 24・25 年度小中一貫教育乗り入れ授業報告



練馬区立上石神井小学校  
練馬区立上石神井中学校

## 目 次

I	ねりまの小中一貫教育における乗り入れ授業	1
1	乗り入れ授業の試行	1
2	乗り入れ授業を試行している他の学校の状況	1
3	「練馬区小中一貫教育推進方策」（平成24年2月 練馬区教育委員会）における乗り入れ授業に関する記載	2
II	上石神井小学校・上石神井中学校の乗り入れ授業	4
1	はじめに	4
2	上石神井小学校・上石神井中学校の乗り入れ授業のねらい	5
3	乗り入れ授業実施方法	6
4	体育年間指導計画（平成25年度）	7
5	主な体育学習指導案	8
6	外国語活動年間指導計画（平成25年度）	23
7	主な外国語活動学習指導案	24
8	児童アンケート集計結果（平成24年4月および平成25年4月実施）	36
9	跳び箱の授業を終えた児童の感想（平成25年2月実施）	38
10	乗り入れ授業の成果と課題	42

## I ねりまの小中一貫教育における乗り入れ授業

### 1 乗り入れ授業の試行

#### (1) 目的

中学校教員が小学校教員と一緒に小学生を指導することにより、中学進学への不安の緩和および学習意欲の向上をめざすとともに、小中一貫教育の推進を図る。

#### (2) 小中連携支援講師の配置

中学校教員が定期的に小学生を指導する時間を確保するため、乗り入れ授業を定期的実施する中学校に小中連携支援講師を練馬区が配置する。

#### (3) 試行期間

平成24・25年度の2年間

#### (4) 試行を実施している学校、教科および学年等

小学校	中学校	教科	学年	小中連携支援講師配置
旭丘小学校	旭丘中学校	算数・数学	小学校第6学年	有
上石神井小学校	上石神井中学校	体育・保健体育	小学校第6学年	有
		算数・数学	中学校第1・2学年	なし
		外国語活動・英語	小学校第6学年	なし
八坂小学校	八坂中学校	算数・数学	小学校第6学年	有

### 2 乗り入れ授業を試行している他の学校の状況

#### (1) 旭丘小学校および旭丘中学校

- ① 対象 第6学年（1学級）
- ② 教科 算数
- ③ 方法

旭丘小学校第6学年の児童が、登校後に担任の引率により旭丘中学校に移動し、中学校教室にて授業を受けている。中学校数学科教員とのチームティーチングを行っている。授業時間は45分である。

算数の授業時間（週5時間）のうち4時間は、担任、少人数加配教員および学力向上支援講師が指導し、1時間について乗り入れ授業として1学級2展開の少人数グループにより指導を行っている。指導者は、中学校数学科教員（T1）と小学校担任（T2）、中学校数学科教員（T1）と小学校少人数加配教員（T2）のチームティーチングの組合せで実施した。

週5時間のうち1時間だけの乗り入れ授業であることから、「文字と式」「比と比の値」「比例と反比例」の単元で乗り入れ授業を実施し、他の単元と並行して授業を行っている。

#### ④ 打合せ

乗り入れ授業後の火曜日2校時を打合せ時間とし、関係教員が話し合っている。

#### ⑤ 実施のための支援

##### ア 小中連携支援講師の配置

乗り入れ授業を行う中学校教員の授業時数を軽減するため、旭丘中学校に小中連携支援

講師（区費）を週3時間配置した。本校の小中連携支援講師は、時間講師（都費）と兼任であり、教員免許のある有資格者である。

イ 教科書・指導書の配布

乗り入れ授業を実施するため、小学校算数の教科書（1部）および教師用指導書（1部）を旭丘中学校に配布した。

ウ 教材

新たな教材の購入および配布はなかった。

## （2）八坂小学校および八坂中学校

① 対象 第6学年（2学級）

② 教科 算数

③ 方法

平成25年度においては、八坂中学校の数学科教員が月曜日（3校時）、火曜日（3校時）、水曜日（3校時）の週3回に八坂小学校へ移動し、3学級4展開（平成24年度は2学級3展開）の授業で小学校第6学年担任または少人数加配教員とのティームティーチングを行っている。授業時間は45分である。当初は、展開をしたグループを巡回し、算数の教え方や児童の実態把握に努めた。後半は個別指導などで授業への関わりを深めるとともに、T1またはT2として1グループの指導を行った。

④ 打合せ

平成24年度においては、小・中学校の時間割を調整し、週3回の授業の際に連続2コマの空き時間ができるように時間割を工夫した。

⑤ 実施のための支援

ア 小中連携支援講師の配置

乗り入れ授業を行う中学校教員の授業時数を軽減するため、八坂中学校に小中連携支援講師（区費）を週4時間配置した。本校の小中連携支援講師は、時間講師（都費）と兼任であり、教員免許のある有資格者である。

イ 教科書・指導書の配布

乗り入れ授業を実施するため、小学校算数の教科書（1部）および教師用指導書（1部）を八坂中学校に配布した。

ウ 教材

新たな教材の購入および配布はなかった。

## 3 「練馬区小中一貫教育推進方策」（平成24年2月 練馬区教育委員会）における乗り入れ授業に関する記載

第2章 練馬区が取り組む小中一貫教育

2 練馬区の小中一貫教育の考え方と具体的な取組

（2）具体的な取組

③ 教員の計画的・継続的な交流

ウ 小中学校教員の相互協力による指導（乗り入れ授業など）

中学校の教員が小学生を教えたり、小学校の教員が中学生を教えたりする乗り入れ

授業については、現状では、自校での授業を空けることになるため、定期考査の期間中などに行われています。人的な体制など条件が整う場合には、教員の交流を増やしていくことを検討していきます。

#### ④ 連携を進めるための学校運営

##### イ 小中連携推進教員（連携クリエイター）の選任

推進組織には、連携を進める核となる「小中連携推進教員」を置きます。先行自治体では、小中一貫教育を進める中学校に「小中一貫教育推進主任」「小中一貫コーディネーター」といった名称で配置し、推進組織の会議の事務局や、小中合同研修会の運営、乗り入れ授業の準備、児童・生徒の交流の日程調整や実施計画の作成などの役割を担っています。練馬区では、単なる調整役としてだけでなく、義務教育9年間を見通した新たな教育を創造していくという意味で「連携クリエイター」という呼称として、小中連携推進教員を設けます。

### 第3章 小中一貫教育の全区的展開に向けて

#### 2 中学校区別協議会を基盤として

##### (3) 研究グループの取組

研究グループでは、小中一貫教育の推進組織を設置するとともに、小中学校の連携を中心となって進める小中連携推進教員（連携クリエイター）を各小中学校に1名置きます。

小中連携推進教員（連携クリエイター）は、推進組織の会議の事務局や、小中合同研修会の運営、乗り入れ授業の準備、児童・生徒の交流の日程調整や実施計画の作成などの役割を担います。

##### (6) 実践校等における発展的な取組

研究グループや実践校での取組を定期的実施して効果を定着させるため、条件が整う場合には、次のような発展的な取組を行います。

##### ① 定期的な乗り入れ授業

小中学校教員による乗り入れ授業を週に一回程度、定期的実施します。小中学校教員が協力して子供たちを指導することで、小学校教員と中学校教員が互いの専門性を高めることができ、学習面で小中学校の接続を滑らかにするための工夫が図られて授業改善につながります。このことにより、学力や体力の向上が図られるとともに、小学生が中学校の学習へのつながりを意識できるようになったり、中学校教員の指導の仕方や雰囲気を理解したりといった効果も期待できます。

先行自治体では、非常勤講師を加配して、通年で乗り入れ授業を実施している事例があります。乗り入れ授業を定期的実施するには、授業時間や移動・打合せの時間を確保するための体制づくりが必要です。

#### 4 教育委員会の役割

##### (4) 連携のための人的な仕組みづくり

##### ② 連携クリエイター活動および乗り入れ授業を進めるための体制づくり

小中連携推進教員（連携クリエイター）の活動および継続的な乗り入れ授業を行うため、先行自治体では加配された非常勤講師が授業や校務分掌の補助などを行っています。練馬区においても、小中一貫教育推進のための人員確保を検討していきます。

#### 5 改修・改築時の施設整備

##### (2) 小中一貫教育を進めるために考えられる施設整備

小中一貫教育を進めるために有効な施設としては、次のようなものが考えられます。今後、校舎の改修・改築の時期にあわせて整備していくことが望まれます。

##### ② 小中学校教員の相互協力による指導（乗り入れ授業）に必要な施設 乗り入れ授業を行う教員用の机・教材教具用のスペースなど

## Ⅱ 上石神井小学校・上石神井中学校の乗り入れ授業

### 1 はじめに

上石神井小学校と上石神井中学校では、平成23・24年度の2年間に渡り、練馬区教育委員会の小中一貫教育研究グループの指定を受け、研究に取り組んできた。その取組の一つであるとともに、小中一貫教育における課題改善カリキュラムの作成と教員の指導力向上を目的として乗り入れ授業を計画・実施した。

乗り入れ授業を実施した教科は、上石神井小学校および上石神井中学校の教育課題でもある基礎学力と体力の向上を目指し、小学校と中学校で管理職が中心となり検討した。その結果、小学校への乗り入れ授業は体育と外国語活動、中学校への乗り入れ授業は数学に決定した。

外国語活動と数学は、時間割を工夫して担当教員の授業がない時間を活用し、外国語活動においては中学校教員が小学校の授業に参加し、数学においては小学校教員が中学校の授業に参加する方法で実施した。しかし、体育は、中学校教員が担当する授業時間数が多く、現状では小学校の授業に参加できないため、教育委員会により週6時間の小中連携支援講師（保健体育）が中学校に配置された。そして、配置の時間を活用して乗り入れ授業を計画・実施した。

教育課程編成上の課題や時間割作成上の課題、小中学校の教員の授業準備や打合せ時間の確保等、実施上の課題はたくさんあったが、乗り入れ授業の実施を踏まえて行った生徒や保護者対象のアンケート結果等からは、いくつかの成果があった。児童からは、中学校教員から直接指導を受けることで、中学校に対する不安が少なくなったという意見もあった。

また、乗り入れ授業を計画・実施することで、小・中学校の教員同士の理解も深まり、小学校教員が中学校の教員の専門的な指導を取り入れることで、指導力の向上にもつながった。

本報告会は、研究授業とこれまでの研究の成果を発表し、皆様から指導・助言をいただき、今後の上石神井小学校・上石神井中学校の小中一貫教育に生かしていきたいと考えている。



## 2 上石神井小学校・上石神井中学校の乗り入れ授業のねらい

### (1) 体育および保健体育

- ① 中学校教員の専門性の高い指導力を生かしながら、小学校教員と指導方法の研究・実践を行い、体育・保健体育の課題改善カリキュラムを作成する。
- ② 体育の授業の中に専門性の高い指導を取り入れることで、児童の興味や関心を高め、意欲的に体育の授業に取り組む態度を育成する。
- ③ マット運動や跳び箱等、児童が苦手としている種目について、専門性の高い指導・助言を行うことで苦手意識を解消する。
- ④ 体力向上に向けて専門性の高い教員による補助運動を授業に取り入れることで、児童の基礎体力の向上を図る。
- ⑤ 小学校第6学年の児童に関する体力の実態を把握することで、中学校における体力向上プログラムの作成に生かす。
- ⑥ 中学校教員が児童の実態を理解することで、生活指導における児童・生徒理解を深めるとともに、児童が中学校教員を理解することにより、中学校入学への不安解消を図る。

### (2) 外国語活動および外国語（英語）

- ① 中学校教員の専門性の高い指導力を生かして、小学校教員と指導方法の研究・実践を図りながら、外国語活動および外国語（英語）の課題改善カリキュラムを作成する。
- ② 外国語活動の授業に専門性の高い指導を取り入れることで、児童の興味や関心を高め、意欲的に外国語活動の授業に取り組む態度を育成する。
- ③ 児童が苦手としている外国語活動におけるコミュニケーションや自己表現することについて、専門性の高い指導・助言を行うことで苦手意識を解消する。
- ④ 小学校教員、外国語活動指導員および中学校教員の複数体制で指導することで、きめ細かな指導を実施し、児童の悩みや課題を解決するとともに外国語活動の楽しさを理解させる。
- ⑤ 小学校第6学年の児童に関する外国語活動の実態を把握することで、中学校の英語指導における指導計画の作成に生かす。
- ⑥ 中学校教員が児童の実態を理解することで、生活指導における児童・生徒理解を深めるとともに、児童には中学校教員を理解することにより、中学校入学への不安解消を図る。

### (3) 算数および数学

- ① 小学校教員が中学校の授業に参加し、中学校における指導方法を知り、指導方法の研究・実践を行うとともに課題改善カリキュラムを作成する。
- ② 小学校教員が中学校の補習授業に参加することで、中学校での基礎・基本の定着の実態を理解し、算数の指導方法の工夫・改善に努める。
- ③ 中学校第1学年の生徒の実態を把握することで、小学校における算数の指導計画作成に生かす。
- ④ 小学校教員が生徒の実態を理解することで、生活指導における児童・生徒理解を深め、中学校入学への不安解消の一助とする。

### 3 乗り入れ授業実施方法

#### (1) 体育

##### ① 平成24年度（毎週火曜日）

	学級	指導者（小）	乗り入れ指導者（中）
1校時	6年2組	遠藤教諭	土屋主任教諭
2校時	6年1組	清水主任教諭	土屋主任教諭
3校時	6年3組	東浦主任教諭	土屋主任教諭

##### ② 平成25年度（毎週火曜日）

	学級	指導者（小）	乗り入れ指導者（中）
1校時	6年2組	板垣教諭	土屋主任教諭
2校時	6年3組	林主任教諭	土屋主任教諭
3校時	6年1組	久留主教諭	土屋主任教諭

#### (2) 外国語活動

##### ① 平成24年度（毎週木曜日）

	学級	指導者（小）	乗り入れ指導者（中）	外国語活動指導員
2校時	6年2組	遠藤教諭	池田主任教諭	明日香指導員
3校時	6年1組	清水主任教諭	池田主任教諭	明日香指導員
4校時	6年3組	東浦主任教諭	池田主任教諭	明日香指導員

##### ② 平成25年度（毎週木曜日）

	学級	指導者（小）	乗り入れ指導者（中）	外国語活動指導員
2校時	6年2組	板垣教諭	池田主任教諭	明日香指導員
3校時	6年1組	林主任教諭	池田主任教諭	明日香指導員
4校時	6年3組	久留主教諭	池田主任教諭	明日香指導員

#### (3) 数学

##### ① 平成24年度（毎週木曜日）

	学級	指導者（中）	乗り入れ指導者（小）
6校時	1年A・B組	浦澤教諭	榛葉主幹教諭
		木下主任教諭	
		関主幹教諭	

##### ② 平成25年度（毎週木曜日）

	学級	指導者（中）	乗り入れ指導者（小）
6校時	2年C組	浦澤教諭	清水主任教諭
		木下主任教諭	
		遠藤主任教諭	



4 体育年間指導計画（平成25年度）

単元	年間指導時間	単元指導時間	指導日	主な学習活動
体づくり運動	1	1	4月①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ体操</li> <li>・体ほぐし運動</li> <li>・ヒューマンチェーン</li> </ul>
	2	2	4月②	
	3	3	4月③	
跳び箱	4	1	5月①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開脚跳び</li> <li>・閉脚跳び</li> </ul>
	5	2	5月②	
マット運動	6	1	5月③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前転、後転</li> <li>・開脚前転、開脚後転</li> </ul>
	7	2	6月①	
	8	3	6月②	
水泳	9	1	6月③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール</li> <li>・平泳ぎ</li> <li>・連合水泳記録会に向けて</li> </ul>
	10	2	6月④	
	11	3	7月①	
	12	4	7月②	
	13	5	7月③	
	14	6	9月①	
運動会練習	15	1	9月②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組体操</li> </ul>
	16	2	9月③	
	17	3	9月④	
高跳び	18	1	10月①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみ跳び</li> </ul>
	19	2	10月②	
	20	3	10月③	
	21	4	10月④	
バスケットボール	22	1	11月①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パス、ドリブル、シュートの基本</li> <li>・オフボールの動き</li> <li>・3on3</li> <li>・5on5</li> </ul>
	23	2	11月②	
	24	3	12月①	
	25	4	12月②	
	26	5	12月③	
	27	6	12月④	
	28	7	1月①	
	29	8	1月②	
	30	9	1月③	
球技	31	1	2月①	
	32	2	2月②	
	33	3	2月③	
まとめ	34・35	2	3月	

## 5 主な体育学習指導案

### (1) 体づくり運動 <2時間目>

① 本時の目標 力強い動きを高める運動に取り組み、逆さ感覚や腕で体を支える感覚を身に付けよう。

### ② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 体育係を中心に準備体操 →体育館を5周後に体操 2 集合・整列・挨拶 3 本時の説明 1) めあて 2) 流れ 4 ペアストレッチ	◇：T1 の関わり ◆：T2 の関わり ◇◆一緒に取り組みながらケガのないようしっかりと体を温めさせる。 ◇簡潔に伝える。	
展開 ① 10分	5 体幹トレーニングに挑戦する。 <ポイント> ①体の中心に力を入れる。 ②頭から足先まで一本の棒になるようなイメージで行う。		■正しい姿勢で効果的なトレーニングができて いるか。 (技能：観察)
展開 ② 20分	1) 前向き 30秒 2) 右横向き 30秒 3) 左横向き 30秒 * 1)～3)を3セット行う。 6 「進化ゲーム」を行う ①アザラシ ②ウサギ ③ゴリラ ④人間 (7 壁を使って倒立)	◇模範を見せ、イメージをもたせる。 ◆正しい姿勢でできていない児童に個別指導をする。 ◇はじめに①～④の動きとポイントを紹介し、実際に行わせる。 ◆正しい動き方ができていない児童に対して個別指導をする。 *時間があれば、壁際にマットを出して行ってみる。	■意欲的にゲームに取り 組むことができて いるか。 (関・意・態：観察) ■正しい姿勢で動物の動 きに取り組むことが できているか。 (技能：観察)
まとめ	8 ペアストレッチ 9 振り返り 10 次回の確認		

### ③ その他

○ 倒立を成功させるためには、腕支持感覚と体の中(体幹)筋力とバランス感覚が必要だと考える。本時は特に「体幹に力を入れてバランスを保つ」こと主たるねらいとした。

○ 「進化ゲーム」:アザラシ～ゴリラまでに共通する運動は、「体幹に力を入れること」と「腕で体を支えること」である。ジャンケンをして勝ったら次の動物になるというように、ゲーム感覚で上記の力を身に付けさせたいと考えた。

(2) 体づくり運動 <3時間目>

① 本時の目標 力強い動きを高める運動に取り組み、逆さ感覚や腕で体を支える感覚を身に付けよう。

② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 体育係を中心に準備体操 →体育館5周後体操 2 集合・整列・挨拶 3 本時の説明 1) めあて 2) 流れ 4 ペアストレッチ	◇：T1 の関わり ◆：T2 の関わり ◇◆一緒に取り組みながらケガのないようしっかりと体を温めさせる。 ◇簡潔に伝える。	
展開 ① 10分	5 体幹トレーニングを行う。 <ポイント> ①体の中心に力を入れる。 ②頭から足先まで一本の棒になるようなイメージで行う。 1) 前向き 30秒 2) 右横向き 30秒 3) 左横向き 30秒 *1)～3)を3セット行う。	◇模範を見せ、イメージをもたせる。 ◆正しい姿勢でできていない児童に個別指導する。	■正しい姿勢で効果的なトレーニングができてきているか。 (技能：観察)
展開 ② 20分	6 「ワームプル」トレーニングを行う。 1) 手押し車の姿勢をキープ 2) 手押し車の姿勢でバンザイ 3) 手押し車の姿勢で歩く 7 壁を使って手押し車の姿勢から少しずつ足を上げていく。	◆正しい動き方ができていない児童に対して個別指導する。 *マットを壁際に準備する。 ◆◇安全面での配慮。特に腕で体を支えられない児童に対して、体を支えるなどの補助を行う。	■正しい姿勢でワームプルに取り組むことができてきているか。 (技能：観察) ■意欲的に何度もチャレンジしようとしているか。 (関・意・態：観察)
まとめ	8 ペアストレッチ 9 振り返り 10 次回の確認		

(3) 跳び箱 <1時間目>

- ① 本時の目標 今できる力で跳び箱運動を楽しもう。～開脚跳び～
- ② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 体育係を中心に準備体操 →体育館5周後体操 2 集合・整列・挨拶 3 本時の説明 1) めあて 2) 流れ	◇：T1 の関わり ◆：T2 の関わり  ◇◆一緒に取り組みながらケガのないようしっかりと体を温めさせる。 ◇簡潔に伝える。	
展開 ① 10分	4 「ねこちゃん体操」を行う。 (★跳び箱・マットを準備する。) 5 安全面のルールを聞く。 1) 跳び終わったらマット等を確認し、次の人に合図をおくる。 2) 跳び箱の外側を歩いて列に戻る。	◇模範を見せ、イメージをもたせる。 ◆正しい姿勢でできていない児童に個別指導をする。  *1段～7段まで全て準備する。	
展開 ② 20分	6 開脚跳びに挑戦する。 ⇒ 一人3回程度 7 開脚跳びのポイントを説明する。 1) 両足で強く踏み切る。 2) 手を遠くにつく。 3) 視線を前にする。(姿勢がよくなり、肘が伸びやすくなる。) → 補助倒立につなげる。	*自分でできそうな高さを選んで挑戦させる。	■意欲的に何度もチャレンジしようとしているか。 (関・意・態：観察)  ■開脚跳びの三つのポイントができているか。 (技能：観察)
まとめ	8 ポイントを意識し、もう一回チャレンジする。 9 ペアストレッチ 10 振り返り 11 次回の確認	◆高い段に挑戦している児童を中心に見る。 ◇苦手意識をもっている児童を中心に見る。	

(4) 跳び箱 <2時間目>

- ① 本時の目標 高まった力を生かして跳び箱運動を楽しもう。～開脚跳び・台上前転～  
 ② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 体育係を中心に準備体操 →体育館5周後体操 2 集合・整列・挨拶 3 本時の説明 1) めあて 2) 流れ	◇：T1 の関わり ◆：T2 の関わり ◇◆一緒に取り組みながらケガのないようしっかりと体を温めさせる。 ◇簡潔に伝える。	
展開 ① 10分	4 「ねこちゃん体操」を行う。 (★跳び箱・マットを準備する。) 5 安全面のルールを聞く。 1) 跳び終わったらマット等を確認し、次の人に合図をおくる。 2) 跳び箱の外側を歩いて列に戻る。	◇模範を見せ、イメージをもたせる。 ◆正しい姿勢でできていない児童に個別指導する。 *4～8段まで全て準備する。 →前回と同じ場所の設定。	
展開 ② 20分	6 開脚跳びの復習をする。 ⇒ 一人3回程度 7 台上前転に挑戦する。 1) 両足で強く踏み切る。 2) 手を手前にくにつく。 3) アゴをひく。(へそを見て前転する。)	*自分でできそうな高さを選んで挑戦させる。	■台上前転の三つのポイントができていないか。 (技能：観察) ■意欲的に何度もチャレンジしようとしているか。 (関・意・態：観察)
まとめ	8 台上前転か開脚跳び、どちらかを選んで取り組む。 9 ペアストレッチ 10 振り返り 11 次回の確認	◇開脚跳びを行う児童を中心にみる。 ◇台上前転を行う児童を中心にみる。	

＜跳び箱指導の様子＞ 平成 24 年度

■ 「ねこちゃん体操の様子」



■ 準備体操



■ 跳び箱実技指導



(5) マット運動 <1時間目>

- ① 本時の目標 マットの上で転がったり逆さになったりする感覚を楽しもう。
- ② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 体育係を中心に準備体操 →体育館5周後体操 2 集合・整列・挨拶 3 本時の説明 1) めあて 2) 流れ	◇：T1 の関わり ◆：T2 の関わり  ◇◆一緒に取り組みながらケガのないようしっかりと体を温めさせる。 ◇簡潔に伝える。	
展開 ① 20分	4 「ねこちゃん体操」を行う。 *肩倒立を加える。 (マットを準備する。)	◇模範を見せ、イメージをもたせる。 ◆正しい姿勢でできていない児童に個別指導する。  *全部で8枚。→ <u>跳び箱の準備と同じ班で行う。</u> →跳び箱と同じ場所に設定する。	■頭の入れ方や、手の突き放し等がきちんとできているか。 (技能：観察) ■意欲的に何度もチャレンジしようとしているか。 (関・意・態：観察) ■アゴを出して、倒立姿勢を保とうとしているか。 (技能：観察)
展開 ② 10分	5 前転・後転系の技を行う。 1) 前転 2) 後転 3) 開脚前転 4) 開脚後転	*まずはやって見る。 → 集合してポイントを確認する。 → ポイントを意識してやってみる。 ◆全体を見ながら、状況に応じて個別指導する。 ◇特別な場を設定し、不安がある児童に対して個別指導する。	
	6 「カエルの足うち」に挑戦する。  1) 両手でマットを握るように支える。 2) 勢いよく足をけり上げる。 3) アゴを出して前を見る。	◇◆全体を見ながら状況に応じて個別指導する。	
まとめ	7 ペアストレッチ 8 振り返り 9 次回の確認		

(6) マット運動 <2時間目>

- ① 本時の目標 色々な倒立に挑戦し、逆さ感覚と腕支持感覚を身に付けよう。
- ② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 体育係を中心に準備体操 →体育館5周後体操 2 集合・整列・挨拶 3 本時の説明 1) めあて 2) 流れ	◇：T1 の関わり ◆：T2 の関わり ◇◆一緒に取り組みながらケガのないようしっかりと体を温めさせる。 ◇簡潔に伝える。	
展開 ① 20分 展開 ② 10分	4 「ねこちゃん体操」を行う。 *肩倒立を加えます。 (マットを準備する。) 5 カエル足うちの復習をする。 6 色々な倒立に挑戦しよう。 1) 肩倒立 2) 三点倒立 3) 手押し車から補助倒立 4) 壁倒立 7 「補助倒立」に挑戦する。 1) 両手でマットを握るように支える。 2) 勢いよく足をけり上げる。(補助してくれる相手に倒れこむように！) 3) アゴを出して前を見る。	◇模範を見せ、イメージをもたせる。 ◆正しい姿勢でできていない児童に個別指導する。 *全部で8枚。→ <u>跳び箱の準備と同じ班で行う。</u> →跳び箱と同じ場所に設定する。 →集合してポイントを確認する。 →ポイントを意識してやる。 *1)～4)までは一つずつ行う。 ◆全体を見ながら、状況に応じて個別指導する。 ◇特別な場を設定し、不安がある児童に対して個別指導する。 ◇◆全体を見ながら状況に応じて個別指導する。	■アゴを出して、勢いよく足をけり上げることができているか。 (技能：観察)
まとめ	8 ペアストレッチ 9 振り返り 10 次回の確認		



(7) マット運動 <3時間目>

- ① 本時の目標 補助倒立をマスターしよう。
- ② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 体育係を中心に準備体操 →体育館5周後体操 2 集合・整列・挨拶 3 本時の説明 1) めあて 2) 流れ	◇：T1 の関わり ◆：T2 の関わり  ◇◆一緒に取り組みながらケガのないようしっかりと体を温めさせる。 ◇簡潔に伝える。	
展開① 20分	4 「ねこちゃん体操」を行う。 *マットを準備する。最初は壁際で行う。	◇模範を見せ、イメージをもたせる。 ◆正しい姿勢でできていない児童に個別指導する。  *全部で8枚。→跳び箱の準備と同じ班で行う。	
展開② 10分	5 壁倒立を行う。 1) 逆向きのよじ登り倒立 2) 通常の壁倒立  *マットを前回と同じ形に移動する。 6 補助倒立に挑戦する。 1) 手押し車から補助倒立 2)「補助倒立」に挑戦する。	→跳び箱と同じ場所に設定する。  →集合してポイントを確認する。 →ポイントを意識してやってみる。  ◆全体を見ながら、状況に応じて個別指導する。 ◇特別な場を設定し、不安がある児童に対して個別指導する。	■アゴを出して、勢いよく足をけり上げることができるか。 (技能：観察)
まとめ	7 ペアストレッチ 8 振り返り 9 次回(水泳)の確認		

(8) バスケットボール <1時間目>

- ① 本時の目標 バスケットボールについて知ろう。
- ② 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 集合・整列・挨拶 2 オリエンテーション 1) 学習のねらい 2) 安全面でのルール 3) チームの確認 3 体育係を中心に準備体操	◇: T1 の関わり ◆: T2 の関わり ◇分かりやすく簡潔に伝える。中学校での授業の進め方についてもふれる。 ◆素早くチーム確認ができるよう促す。 ◆ゼッケンの準備と配布する。	
展開 ① 15分	4 簡単なボール慣れの運動 →ボールハンドリング →ドリブル鬼ごっこ 5 ルールの確認 1) 得点の確認 2) ラインの確認 3) トラベリング 4) ダブルドリブル 5) 主なファール 6) 反則があったときの再開の方法	◆うまくできない児童につき、一緒に行う。 ◇学習カードに記入させる。 ◆児童が理解できているか巡回をしながら確認する。	*基本的なルールを理解しているか。 【観察・カード】
展開 ② 15分	6 試しのゲーム →1ゲーム4分流し →全部で3試合	<舞台側> <入口側> ① A v s B (C) D v s E (F) ② A v s C (B) D v s F (E) ③ B v s C (A) E v s F (D) ◇◆審判や得点のチームの補助をする。 ◇児童のバスケットボールの実態を把握する。	*意欲的にゲームに参加しているか。 【観察】
まとめ	7 学習の振り返り 次回の確認 8 挨拶	◇次回はドリブルとシュートを中心に学習することを伝える。	

# バスケットボール 『ゲットゴール！』

## 1. めあて

- (1) バスケットボールのゲームの進め方について知ろう！
- (2) シュート・ドリブル・パスの基本的技能を高め、ゲームを楽しもう！



## 2. 私のチーム

【チーム名】		
【チームのアルファベット】	【ゼッケンの色】	
【チームのスローガン】		
【キャプテン】	【副キャプテン】	【メンバー】
【メンバー】	【メンバー】	【メンバー】

## 3. 基本的なルールを知ろう！

### (1) 得点について

◇基本的には1ゴール（ ）点

◇フリースローは1ゴール（ ）点

### (2) 反則について

◆ボールをもったまま3歩以上歩いてしまう。・・・（ ）

◆ドリブルを止めたあと連続して再びドリブルをする。・・・（ ）

◆相手を押す。・・・（ ）

◆相手の手をたたく。・・・（ ）

◆相手を押さえつける。・・・（ ）



4 学習の振り返り

6年 組 番 名前

	日付	学習の振り返り	ゲームの記録
①	／ ( )	◆試しのゲームを行った感想・バスケットボールの授業で頑張りたいこと	VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け
②	／ ( )	◆ドリブルやセットシュートのコツや自分の課題を記入しよう。	VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け
③	／ ( )	◆パスやレイアップシュートのコツや自分の課題を記入しよう。	VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け
④	／ ( )	◆チームで話し合った動き方の工夫についてまとめよう。	VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け
⑤	／ ( )	◆バスケットボールの学習を終えての感想	VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け VS ( ) 対 勝ち・負け





(11) バスケットボール <4時間目>

- ① 本時の目標      ◎動き方を工夫して、ゴールの近くでシュートを決めよう。  
 ② 本時の展開      \*本時は4/5時間目

	学習活動	指導上の留意点	具体的な評価規準と評価方法
導入 10分	1 集合・整列・挨拶 2 チームごとにランニングと体操をする。 (ウォーミングアップ) →ドリブル鬼ごっこ →レイアップシュート 3 本時のめあて、学習内容を確認する。	◇: T1 の関わり ◆: T2 の関わり ◆ゼッケンの準備と配布 *学級によっては1と2の順番が逆になる。 ◇めあてを分かりやすく簡潔に説明する。	
展開 ① 5分	4 ドリブルなしの3on3を行う。 →1ゲーム4分 前半: 2分 後半: 2分 どう動けばパスがつながるかな? シュートまで行けるかな?	*前半に出る人と後半に出る人を分ける。 <舞台側>      <入口側> ① A v s B (C)      D v s E (F) ② A v s C (B)      D v s F (E) ③ B v s C (A)      E v s F (D)	
10分	5 チームで話し合う。 →ボールをもっていないときにどんな動きをすると良いか?	◇◆各チームを回り助言する。 【舞台側】      【入口側】 ① C v s F (B)      E v s A (D) ② B v s D (F)      C v s E (A)	*ボールを持っていないときの動き方を工夫しようとしているか。 【思・判: 観察・カード】
15分	6 リーグ戦で試合をする。 →1ゲーム5分流し →全部で2試合	◇◆審判やゲーム運営の補助と声かけ。	
まとめ	7 学習の振り返り 次回の確認 8 挨拶		

<バスケットボールの指導の様子> 平成 24 年度



■ドリブル実技指導





6 外国語活動年間指導計画（平成25年度）

単元	年間指導時間	単元指導時間	指導日	主な学習活動
1 Do you have “a”?	1	1	4月①	・オリエンテーション
	2	2	4月②	
	3	3	4月③	
	4	4	5月①	
2 When is your birthday?	5	1	5月②	・誕生日を尋ねる会話 ・友達との会話 ・スピーチの練習
	6	2	5月③	
	7	3	5月④	
3 I can swim.	8	1	6月①	・できることを尋ねる会話 ・友達との会話 ・スピーチの練習
	9	2	6月②	
	10	3	6月③	
	11	4	6月④	
4 Turn right.	12	1	7月①	・道案内する ・友達との会話 ・楽しくゲームする
	13	2	7月②	
	14	3	7月③	
Lesson 2、3、4の復習	15	1	9月①	・Lesson 2、3、4の復習
	16	2	9月②	
	17	3	9月③	
	18	4	10月①	
5 Let's go to Italy.	19	1	10月②	・行きたい国を尋ねる会話 ・友達との会話 ・世界遺産
	20	2	10月③	
	21	3	10月④	
	22	4	11月①	
6 What time do you get up?	23	1	11月②	・自分の一日の紹介 ・時刻を尋ねる会話 ・世界の時差
	24	2	11月③	
	25	3	11月④	
	26	4	12月①	
7 We are good friends.	27	1	12月②	・英語での劇
	28	2	12月③	
	29	3	1月①	
	30	4	1月②	
8 What do you want to be?	31	1	1月③	・将来の夢についての会話 ・友達との会話 ・スピーチの練習
	32	2	1月④	
	33	3	2月①	
	34	4	2月②	
お楽しみ	35	1	2月③	

7 主な外国語活動学習指導案

(1) Lesson1-2

- ① ねらい ・31以上の言い方に慣れる。  
 ・アルファベットの小文字に慣れ親しむ。
- ② 持ち物 アルファベットカード（小文字）

Time	Class Activity	□T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (10)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪ハローソング♪  ○自己紹介をしよう。 池田先生から 児童（新しい名前で） “Hi, I’ m Lucy. Nice to meet you.”	□◆◇挨拶をする。 一緒に歌う。  ◇英語で自己紹介をする。	MD
Review HRT (10)	<u>数を数えよう</u> ○31以上の言い方を知る。 【Let’ s Chant.】 “How many penguins?” ・絵カードに合わせて言う。 ・別の動物にかえて言う。  ○100まで数えてみよう。	□◆◇一緒に歌う。 ◆◇数の言い方を教える。	Hi,friend! 電子黒板
Activity HRT JET (10)	<u>○アルファベットの小文字を知ろう!</u> ・小文字カードをアトランダムに黒板に貼り、アルファベット順に並べる。 ・大文字と似ているもの、違うものなど、考える。	◇◆大文字と小文字の使い方の違いなど、ちょっと知識的なことを説明する。	小文字カード
Activity HRT (10)	<u>○ドンジャンケン・アルファベット!</u> 1 椅子を26個並べて、小文字カードをおく。 2 学級を2チームに分ける。 3 両側からアルファベットを一つずつ指差し、言いながら前に進む。 4 出会ったらジャンケンして、勝った方は前へ。負けたら次の人がスタート。 5 相手チームのところに着いたら、1点! また次の人がスタート。	□ゲームの説明をする。 進行を担当する。  ◇◆学級の半分ずつの生徒を見る。	Hi,friend! についるカード（小文字）
Closing(5)	♪ Hello, Goodbye.		CD

(2) Lesson1-3

- ① ねらい アルファベットの小文字に慣れ親しむ。
- ② 持ち物 アルファベットカード(小文字)

Time	Class Activity	□T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (10)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪ハローソング♪ <b>○自己紹介をしよう。</b> 池田先生から 児童(新しい名前で) “Hi, I'm Lucy. Nice to meet you.”	□◆◇挨拶をする。 一緒に歌う。  ◇英語で自己紹介する。	MD
Review <b>HRT</b> (10)	<b>○数を数えよう。</b> 自分の出席番号を英語で言ってみよう! かけざん九九(9のだん) 「9×9は?」 「81!」	◆問題を出題する。	九九カード
Activity <b>HRT</b> <b>JET</b> (10)	<b>○アルファベットカルタ</b> 1 ペアを作って、アルファベットカード(小文字)をゆかにおく。 2 T1がアルファベットの大文字を黒板にはる。 3 対応する小文字をとる。	□問題を貼る。  ◆◇正しいカードが取れているのかチェックする。	CD 電子黒板
Activity <b>JET</b> (10)	<b>○Do you have~?</b> 学級をAとBに分ける。Aグループは26枚のアルファベットカードをもって、教室内にちらばる。Bグループは5枚のカードを探す。(自分の決めた単語、appleとかlemonとか) 1 教師の手本を見る。 Do you have~? →持っていれば Yes. 持っていなければ No. 2 練習をする。全体→ペア 3 ゲーム1(Aチームちらばる) 4 ゲーム2(Bチームちらばる) 時間のあるところは・・・ <b>○ドンジャンケン・アルファベット!</b>	□説明する。 ◆◇見本を示す。	Hi, friend!につ いるカード(小文字)
Closing(5)	♪ Hello, Goodbye.		CD

(3) Lesson 2 「友だちの誕生日を知ろう」

- 目標 ○ 積極的に誕生日を尋ねたり、誕生日を答えたりしようとする。  
 ○ 英語での月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。  
 ○ 世界と日本の祭りや行事に興味をもち、時期や季節の違いに気付く。

Lesson 2 - 2 ① ねらい 英語での誕生日の聞き方に慣れ親しむ。

Time	Class Activity	□T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪	□◆◇挨拶をする 一緒に歌う	MD CD
Review (10)	<b>○月・序数の言い方の復習</b> 月の言い方を復習する。  <b>○♪ Twelve Months ♪</b> 自分の誕生日の月にはその場で立つ。  <b>○序数の復習</b> グループになり自分の誕生日を口に出して一人ずつ言う。  <b>○Let's play 2(P8)</b> 日付と何の日かを書こう。	◆月の言い方  □◇一人一人が言っているか確認する。  □◆◇グループの中に入る。  ◆英語で説明する。 □◇書いているかチェックする。	CD カレンダー ポスター
Practice (10)	<b>○Let's Listen 2(P8)</b> 音声を聞いて、登場人物と彼らの誕生日とを線でつなぐ。	◆英語で説明。  □◇書いているかチェックする。	PC
Activity (15)	<b>○誕生日の尋ね方</b> <b>“When is your birthday?” の練習</b> ① T2 と T3 の見本を見る。 H : Hello ! J : Hello. When is your birthday? H : My birthday is November 1st. When is your birthday? J : My birthday is ~. ② 練習 (二人組で練習)	□◆◇見本を見せる。    □◆◇会話の確認をする。  ◆◇やりとり	表現カード
Closing (5)	Moving English  ♪ Hello, Goodbye	□説明する。	

(4) Lesson 2-3 「友だちの誕生日を知ろう」

- ① ねらい たくさんの友達に誕生日を聞いて答えるゲームを通して、誕生日のたずね方や誕生日の言い方に慣れ親しむ。

Time	Class Activity	□T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪	□◆◇挨拶をする 一緒に歌う	MD CD
Review (5)	<u>○月・序数の言い方の復習</u> 月の言い方を復習する。  <u>○♪ Twelve Months ♪</u> 自分の誕生日の月にはその場で立つ。	◆月の言い方  □◇ 一人一人が言っているか確認する。	CD カレンダー ポスター
Practice (5)	<u>○誕生日の尋ね方</u> <u>“When is your birthday?” の復習</u> 代表児童と前に出て会話をする。	□◆◇見本を見せる。  ◆◇代表児童とやり取り。	表現カード
Activity (15)	<u>○12か月をコンプリート!!!</u> ① 一人、一人が歩き回り、英語で誕生日を聞きあう。 ② 「Hi, friends!」とえんぴつを持ち、聞きまわる。 ③ たくさんの友達に聞く。(できれば 12 か月埋められるようにする。)	□◆◇見本を見せる。  □全体の流れを確認する。  ◆◇やりとりができて いるか、見て回る。	PC
Activity (10)	<u>○誕生日カードを作ろう</u> 指定の用紙に、 <u>自分の誕生日と名前を英語</u> で書く。  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>November First ☆Ikuma Endo☆</p> </div> 絵やもようをかいてよい。 ※BGMとして、12か月の歌を流す。	◆英語で説明する。  □カード、見本の用意をする。  □◆◇ 丁寧に書けているか見る。	PC
Closing (5)	♪ Hello, Goodbye		

(5) Lesson3 「I can swim. ～できることを紹介しよう～」

- 単元目標 ○ 積極的に友達に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりしようとする。  
 ○ 「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ。  
 ○ 言語や人、それぞれに違いがあることを知る。

Time	Class Activity	□T1 ◆T2 ◇T3	●指導上の留意点	Aids, Remark
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪To the rain.	挨拶をする 一緒に歌う	●楽しい雰囲気 で授業が始められるようにする。	MD CD
Practice (5)	○お手玉できるかな? 「Can you ~?」 ・教師(AとB)の会話を聞き、どのような会話をしているか、考える。 ・A に続いて全員で、B に対して質問をする。 ・自分だったら…という質問に Yes, I canかNo, I can't で答える。	◆◇A, B を交代して行う。 表情をつけて、質問したり、答えたりする。 A : Can you play Otedama? B : Yes, I can./ No, I can't. B はけん玉を実際にやる。 B : できたら→Yes, I can. できない→ No, I can't.	●「できる」「できない」の表現方法として、表情をつけることで、相手に伝わりやすいことに気付かせる。	PC CD
Practice (5)	○Let's chant. ・♪Can you swim ? 動作を変えて歌う。	◆◇発音補助、曲を流す。	●チャンツを流し、児童に聞き取れた単語を聞いていく。何度も繰り返し曲を流す。	
Practice (10)	○Let's Listen. P11 音声を聞いて、登場人物ができることとできないを聞き取り、絵に○と△で囲む。 I can~, I can't~.の言い方の練習をする。	◆英語で説明する。 ◆◇わからない児童にアドバイスする。 □答え合わせをする。		PC
Activity (15)	○Who am I? クイズを作ろう。(動物クイズ) ① グループに 1 枚動物カードを配る。 ② グループでその動物の できること、できないことを考える。 ③ グループ全員で、前に出題する。 I can't swim, but I can run. Who am I? ④ 答える。 次回は、自分のできることを紹介する。	□やり方の説明。 ◆◇やり方を示す。  □◆◇話し合いを補助する。  □クイズ大会の進行をする。	●読み聞かせの絵本を参考にして、問題を考えさせる。  ●次回、自分の できること紹介のために、 準備しておくように伝える。	動物 カード
Closin (5)	♪♪Hello, Goodbye			

(6) Lesson4 「道案内をしよう」

- 単元目標 ○ 積極的に道を尋ねたり、道案内したりしようとする。  
 ○ 目的地への行き方を尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。  
 ○ 英語と日本語とでは、建物の表し方が違うことに気付く。

Lesson4-1

- ① ねらい ゲームを通して、建物や方向を表す言葉の言い方に慣れ親しむ。

Time	Class Activity	教師の動き □T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪To the Rain ♪フォニックスソング	□◆◇挨拶をする 一緒に歌う	CD
Practice (7)	○道案内 ・道に迷ったあすか先生に道案内をする。 中学校、郵便局、コンビニ、駅	<会話例> ◆Excuse me, Where is ○ ○? □◇…(道案内をする。日本語でも可)	
	・建物の英語での言い方を知る。	◇カードを提示しながら、言い方を教える。  □◆言えているかを確認する。	絵カード
Activity 1 (10)	○What's this? ゲーム ・建物の絵カードの一部を見せて、それが何か答える。	□カードを出す。 ◆◇言い方を確認する。	絵カード
Activity 2 (10)	○タテモノ・どんじゃんけん! ・カードを持っている人を指差しして、単語を言いながら進む。 ・学級を三等分。 ・10人+大人でカードを持って座る。	□ゲームの説明し進行する。  ◆◇カードを持って、しっかり言えているか確認する。言えない子の補助をする。	絵カード
Activity 3 (10)	○サイモンセスゲーム ・実際に立って、命令どおりに動く。 Turn right. Turn left. Go straight. Up. Down.	◆命令する。  □◇児童と一緒に活動する。	
Closing (3)	♪ Hello, Goodbye		

(7) Lesson4-2「道案内をしよう」

① ねらい ゲームを通して、建物や方向を表す言葉の言い方に慣れ親しむ。

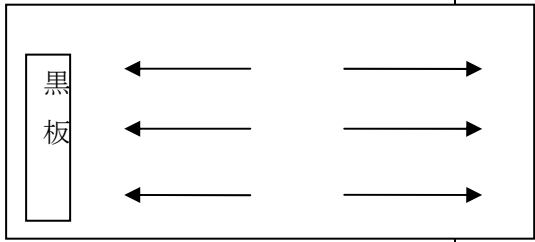
Time	Class Activity	教師の動き □T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→ 日にちの順で確認) ♪To the Rain	挨拶をする。 一緒に歌う。	CD
Review (10)	建物の名前を確認する。  <u>○ビンゴゲーム</u> 3×3のマス のビンゴカードに建物 カードをおく。	◆前回出てきた建物の名前を確認する。  □ゲームの説明をする。  □T1 ◆T2 ◇T3” Where is the~”をつけて、 建物名を言う。	ビンゴカード  建物カード (P47)
Activity 1 (10)	<u>○Turn right.ゲーム</u> ・命令ゲーム Turn right. Turn left. Go straight. Up. Down. ・目をつぶって、JET の言われたとおりに動く。 (時間があれば旗揚げゲーム)	□◆◇見本を見せる。 Turn right.(90度右を向く) Turn left.(90度左を向く) Go straight.(足踏み Up, (伸びる) Down.(しゃがむ)  ◆◇命令をだす。	絵カード (方向)
Activity2 (15)	<u>○道案内</u>  <u>○Let' s Chant</u> “Where is the station?”  <u>○地図作り</u> 二人組をつくる。 二人で一枚白地図をもつ。 お題を知る。 “Where is the bookstore?” A の人が前にある先生地図で確かめる。 B の人に英語で伝える。 建物カードをおく。	◆◇拡大地図で、道案内のしかたの見本を見せる。  □やり方を説明する。 ◆◇交代で出題する。  □◆◇英語でしっかり伝えているか確認する。	PC  白地図カード 建物カード
Closing(5)	♪ Hello, Goodbye		



(8) Lesson4-3「道案内をしよう」

① ねらい 道案内の表現を使いながら、友達を目的地に案内する。

Time	Class Activity	教師の動き □T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪To the Rain ♪phonics song	挨拶をする。 一緒に歌う。	CD
Activity 1 (15)	<b>○Let's Chant</b> “Where is the station?” <b>○命令ゲーム</b> ・命令ゲーム	チャンツで復習する。  Turn right. Turn left. Go straight. Up. Down. <u>～命令ゲーム～</u> 目をつぶって、JETの言われたとおりに動く。 EX 「Turn right, Turn left, Turn left」 ◇命令する。 □ゲームの確認をする。 命令する人を子供と交代する。	PC  ※慣れてきていけば、子供同士、グループ等で行わせる。
Activity2 (20)	<b>○すいかわり</b> グループごとに目隠しをして行う。役割を決める。 ・目隠しする人 ・案内する人 他の人ははじで静かに見ている。	□ゲームの説明をする。 「これからすいかわりゲームをします。グループの中で一人が目隠しします。一人が案内役です。後の人は静かに見守りましょう。」  「案内をする人は、英語で教えます。スイカを割る人は『stop!』の声がかかったら、スイカをわりましょう。」  「終わったら次の人に交替です。」 「目隠しする人、案内する人は一回ずつやります。」  ◇英語で言えるように補助する。	※新聞で作った、棒と紙風船を使用する。
Closing (5)	♪ Hello, Goodbye		CD



(9) Lesson5 「Where do you want to go?」

- 目 標 ○ 自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。
- 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
- 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

Lesson5-1

- ① ねらい 英語の表現を使って、自分の行きたい国を友達に伝える。

Time	Class Activity	教師の動き □T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪フォニックスソング ♪ハロウィンソング(10月の歌)	挨拶をする。 一緒に歌う。	MD CD
Practice (10)	○Asuka先生のいってみたい国	◆国の紹介  次回は Masako 先生にお願いします。	
Practice (10)	○Let's Listen 「行ってみたい国を紹介しよう」 (電子黒板) 音声を聞き、聞き取れたことを発表する。 ・国の名前、世界遺産を確認する。  ※世界には様々な英語があることを紹介する。(JETより)	□説明  ◆◇補足説明や言い方の練習をする。	電子黒板
Practice2 (15)	○「～へ行きたい」の表現を覚える。 <u>&amp;国名の復習</u>  I want to go to～ 1. ♪I want to go to Italy. ♪を聞いて聞き取れたことを発表する。何度か繰り返して聞く。 <Look, green, white, red, Italy, pizza, soccer, let's go> 2. 言葉の練習 T2: Where do you want to go? T3: I want to go to ～  3. 近くの人と、行きたい国を言う。	□どんな言葉が聞こえてきたか質問する。 ◆◇板書、カードをはる。言い方の練習をする。  ◇掲示してある言葉を使って、I want to go to～の練習をする。  時間があれば一人ずつ。または10人グループの中に入って確認する。	CD (英語ノート)
Closing(5)	♪ Hello, Goodbye		

(10) Lesson5-2 「Where do you want to go?」

① ねらい 英語の表現を使って、自分の行きたい国を友達に伝える。

Time	Class Activity	教師の動き □T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪ハロウィンソング	挨拶をする。 一緒に歌う。	MD CD
Practice (5)	<u>OMasako先生のいってみたい国</u> (次回はHRT)	◇行ってみたい国を紹介する。	
Practice (7)	<u>OLet 'Chant</u> ♪I want to go to Italy. ♪を聞いて聞き取れたことを発表する。何度か繰り返して聞く。 <Look, green, white, red, Italy, pizza, soccer, let' s go>  歌えるところは歌うようにしていく。	□出てきた言葉を確認する。 ◇◆言い方を確認する。	CD
Practice2 (8)	<u>○読み聞かせ</u> 「Where do you want to go?」	□どんな言葉がでてくるのか、どんな話をしているのかに気を付けて聞くようにする。  「Where do you want to go?」のフレーズに注目させる。  ◇◆読み聞かせをする。	絵本 「Where do you want to go?」
Activity (15)	<u>OLet 'Chant2</u> ドイツじゃなくて…チャンツ  <u>○インタビューゲーム</u> 「Hi, friends!」. ① 自分の行きたい国をメモする。 ② 尋ねたり、答えたりする言い方の練習をする。 (デモを見せる。) ③ たくさんの友達に聞いてみよう。 ※あいさつを忘れずにする。	□国の言い方の違いに気付かせる。  ◇◆他の国の言い方も知らせる。  □ゲームの説明をする。 (国名は英語で。理由は単語や日本語でもOK) ◇◆国名の言い方確認。 ◇◆デモを見せて言い方の練習。  □◇◆やり取りできているか確認。	CD  Hi, friends.
Closing (5)	♪ Hello, Goodbye	挨拶をする。 一緒に歌う。	CD

(11) Lesson5-2 「Where do you want to go?」

- ① ねらい 英語の表現を使って、自分の行きたい国を友達に伝える。  
行きたい国について調べ、スピーチの練習をする。

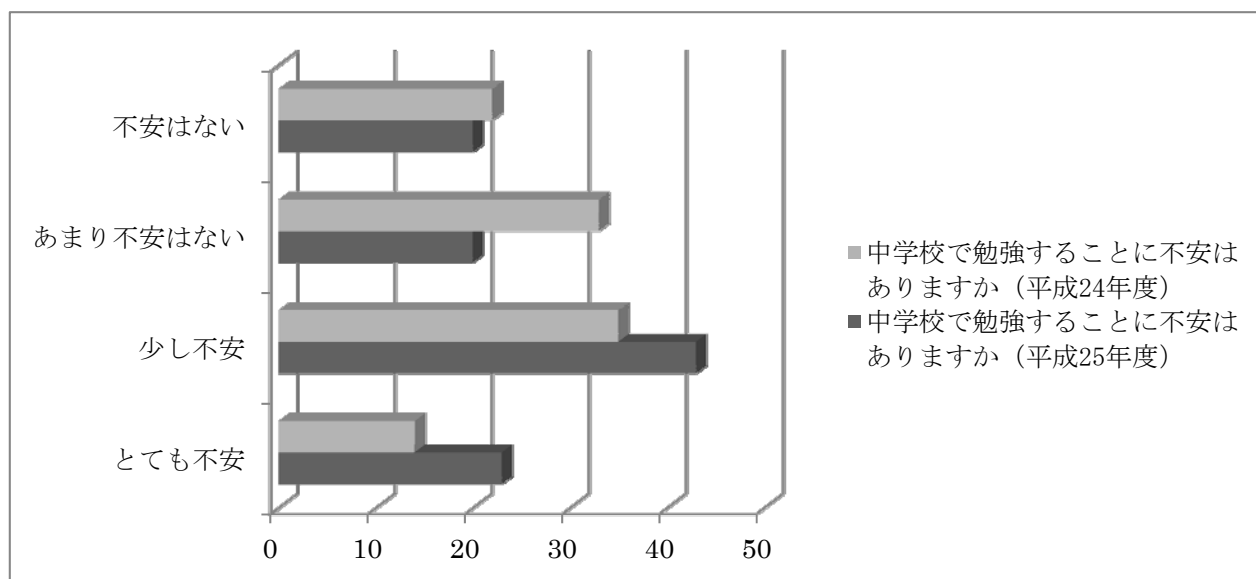
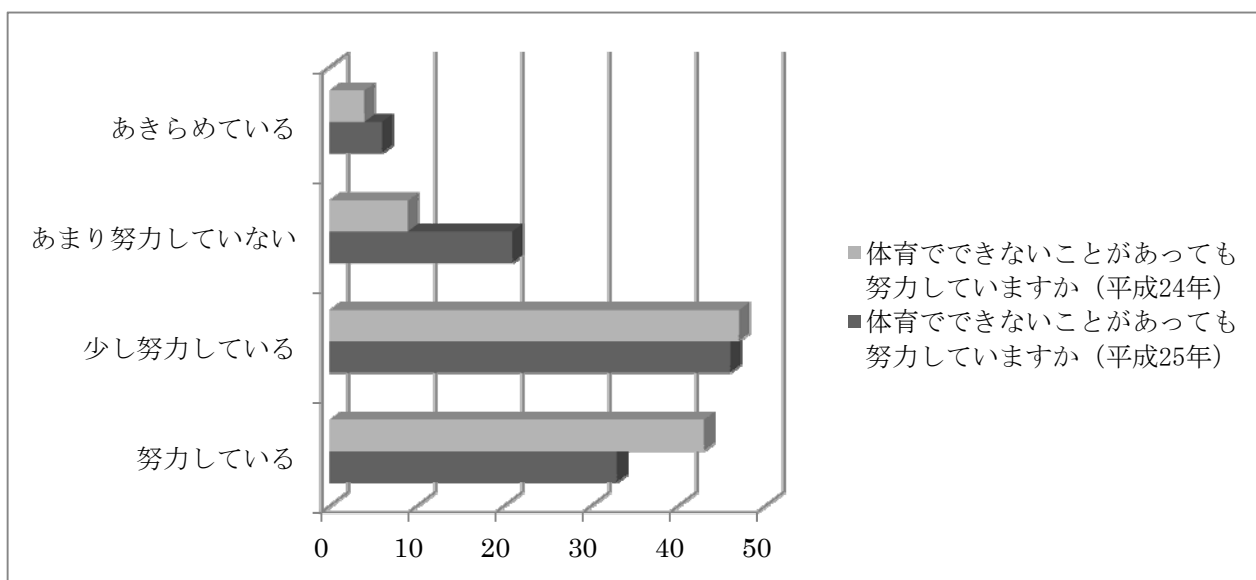
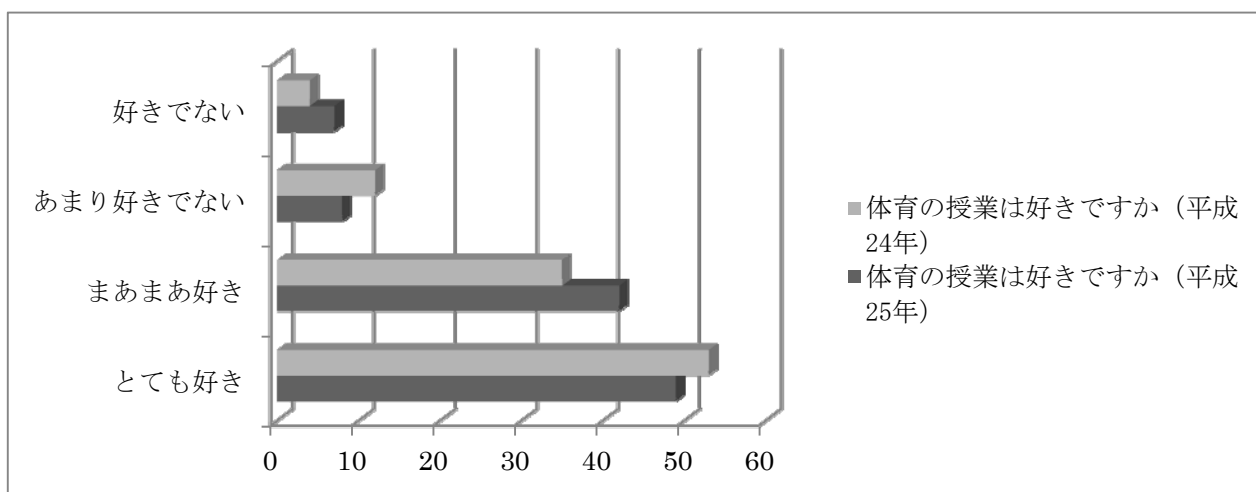
Time	Class Activity	教師の動き □T1 ◆T2 ◇T3	Aids, Remarks
Warm-up (5)	Greeting (あいさつ→天気→日にちの順で確認) ♪ハロウィンソング	挨拶をする。 一緒に歌う。	MD CD
Review (5)	<u>OLet 'Chant1</u> ♪I want to go to Italy. ♪ <Look, green, white, red, Italy, pizza, soccer, let' s go>  <u>OLet 'Chant2</u> ドイツじゃなくて…チャンツ		
Practice (10)	<u>○担任の先生のいってみたい国</u>	□スピーチの見本となるようにする。	C D PC(国旗)
(20)	<u>○行ってみたい国を紹介しよう。</u> <u>(調べる)</u> ワークシートに国旗や世界遺産、見どころなどを文字や絵、写真で紹介できるようにする。	□国旗や見どころなどを調べるように伝える。  ◇◆英語での言い方を教える。	地図帳 図鑑
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>I want to go to</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; border-radius: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; text-align: center;">国旗</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; border-radius: 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; border-radius: 10px;"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 20px; text-align: center;">name</div> </div> </div>		<p>資料が多くないので、グループで調べてもよいが、一人一人がワークシートを仕上げ、発表できるようにする。</p> <p>個人で写真などを用意してもよい。</p> <p>次回はちょっとハロウィン風に、衣装、グッズがあればもってきてよい。</p>	
Closing(5)	♪		

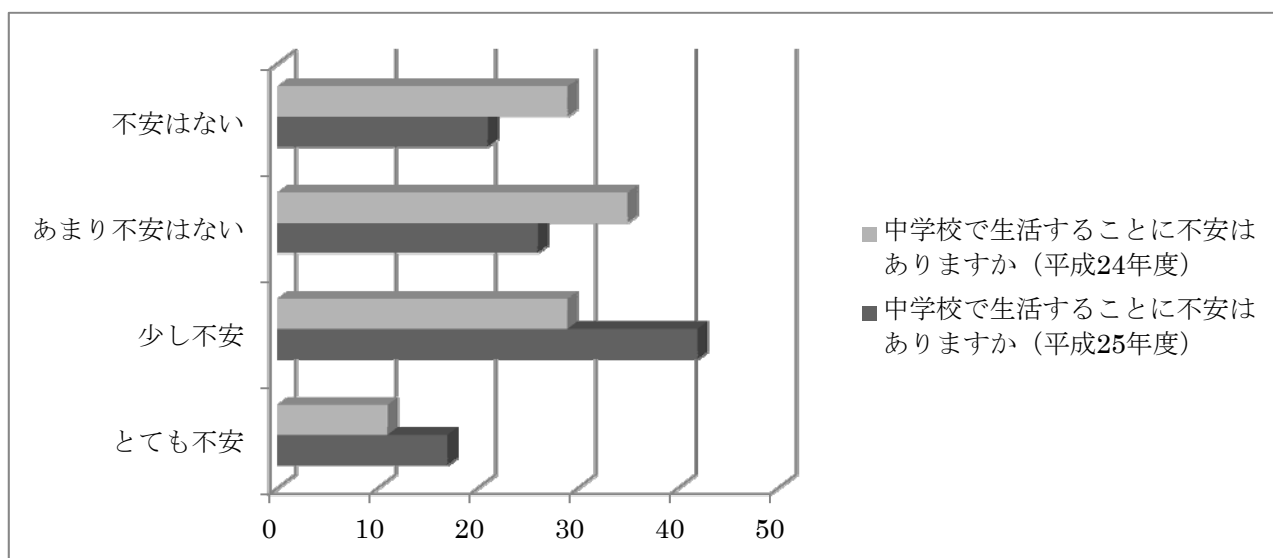
<ハロウィンの授業の様子> 平成 24 年度

■ハロウィンのため仮装

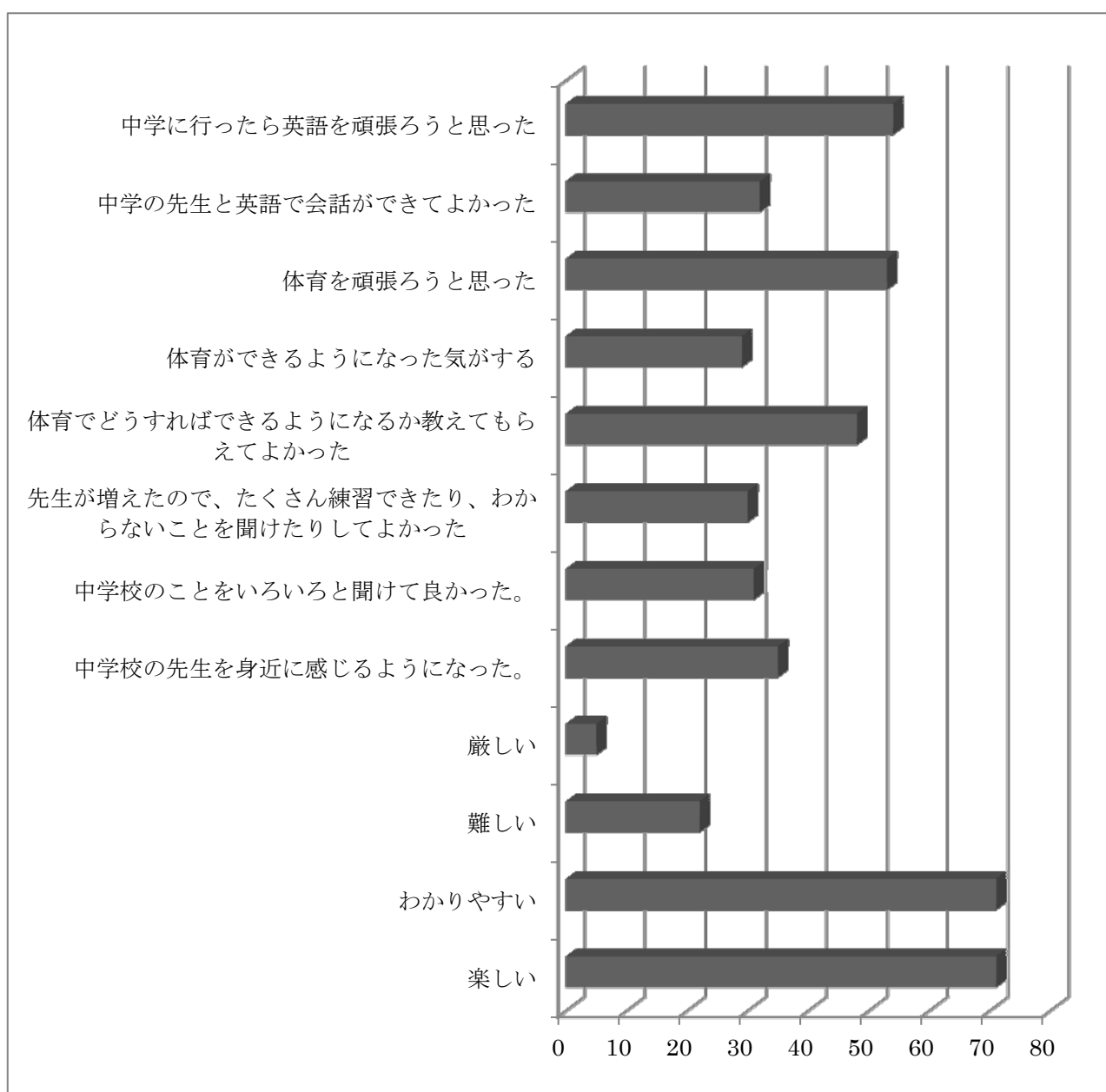


8 児童アンケート集計結果（平成24年4月および平成25年4月実施）





中学の先生に教えてもらった感想として、当てはまるものすべてに○をつけてください



## 9 飛び箱の授業を終えた児童の感想（平成25年2月実施）

- 私は、飛び箱をやる前に行く「猫ちゃん体操」や「進化ゲーム」などをやって緊張がほぐれました。そして、今までにできなかった台上前転で、いろんなポイントやコツを教えてくれたり友達とやったりすることで、できなかったところを教え合ってどんどんできるようになりました。
- 4年生のころは怖くてできなかったけど、先週の授業で二段まで跳べるようになりました。6段くらいまで跳べるようになりたいです。体育の授業で土屋先生がいろいろな体操を教えてくれるので良いと思っています。
- 体育の土屋先生や英語の池田先生など中学校の先生の授業を一緒に受けることで、「中学校に行ったらこういう先生方に教えてもらえるんだ。」と思い、少し安心できました。台上前転では、友達を見てコツをつかめて、綺麗に1回だけできました。
- 僕は、中学校の土屋先生が来てくれることで、小学校の中に中学校の先生がいるといろいろ話しやすいです。そして、上石神井中学校に行ったときに、いろいろと話が出来る先生がいることはとても良いと思いました。だから僕は、土屋先生がいることは良いと思いました。
- 土屋先生が来てくださると良い見本を見せてくださったり、ポイントを教えてくれたりするので、飛び箱がきれいに跳べるようになったと思います。また、技ができなくても教えてくれるので、楽しく体育の授業に取り組むことが出来ました。

研究授業では、初めは台上前転がすごく怖かったけど、友達や土屋先生が励ましてくれてできるようになったときは、すごく嬉しかったです。
- 「開脚跳び」では、着手、着地、ふみきりなど細かな所を教えてもらい美しく跳べました。「閉脚跳び」では、最初ゴムを使って跳ぶことで安心して跳べました。最後は足が少しすれてしまったけど、普通の飛び箱で飛べて嬉しかったです。

研究授業で行った「台上前転」では、全然怖くて回れなかったけど、友達や土屋先生に励まされて少しできるようになりました。着地はまだただけど頑張りたいです。また、土屋先生が来てくださって、中学校の体育の授業を思い浮かべられたり、とても分かりやすい見本やアドバイスをしていただいたりして、今まで以上に体育が好きになりました。
- 飛び箱で開脚跳びはとてもきれいに跳ぶことができました。台上前転は最初少し怖かったけど、4段までできるようになりました。

土屋先生が来てくださってから、5年でできなかった技ができるようになりました。土屋先生は優しくていねいに教えてくれるので、これからも教えてもらいたいです。
- きれいに美しく跳ぶことができました。はじめは跳べば良いと思っていたけれど、美しく跳ぶことはとても大切なことだとよくわかりました。



土屋先生が来てくれることで、教えてくれる先生が1人より多くなるので良いと思います。また、学校ではあまりやらない「猫ちゃん体操」など、新しい体操を教えてくれて楽しかったです。

- 体育の時間の前にいつも土屋先生に教えていただいた「進化ゲーム」「猫ちゃん体操」「アンテナ体操」でウォーミングアップをして、跳び箱をするときに使う体の部分を伸ばしたり動かしたりすると感覚が分かるので、上手に跳ぶことができました。土屋先生に教えてもらって良かったと思います。他の先生方にもいつもやっているやり方で見ていただき、普段の体育のやり方を知っていただきたいと思います。
- 私は、最初、台上前転が怖くてできなかったけど、土屋先生からポイントを教えてもらって4段でもできるようになったので良かったです。  
また、土屋先生はできる時のポイントをスローモーションのようにていねいに教えてくださるので、分かりやすく私にもできるようになりました。
- 研究授業の時でもめあてにそってやることができました。着地の点ではコツをつかめなかったけど、体育の授業ではいつも土屋先生が来ていろいろな事を教えてくださるので、めあてにそってコツが分かりやすく、勇気を振りしぼって挑戦するとできるようになりました。  
最近は授業の中で達成感も感じられるようになりました。これからもいろいろな授業を楽しみながら頑張っていきたいです。
- 土屋先生が来てくれると二人先生がいて教えてもらえる時間が長くなり、とてもできるようになるスピードが速くなるので良いと思いました。
- 研究授業で台上前転の2段をやる時、ちょっと緊張して、できるか分からなかったけど「できる」と思って思い切りやったら2段は跳べることができた。その後、1段から挑戦したら、3段はやらなかったけど、2段で確実にできるようになった。土屋先生が来てくださっている時の体育の授業は、ウォーミングアップで楽しい体操ができるので嬉しいです。  
じゃんけんをしてどんどん進化していく体操のゲームはとても楽しいです。授業の初めに楽しい体操ができるのは、土屋先生が来てくださっているおかげです。
- 開脚跳びでは、以前より着地がきれいにできるようになりました。でも台上前転では、怖くてなかなかできず回ったときもきれいに着地することができませんでした。進化ゲームや猫ちゃん体操では、楽しく体を動かしてとても面白いです。土屋先生は、授業でも一つ一つポイントを丁寧に教えてくださり、できない時には、「もっとこうしたほうが良いよ。」と優しくアドバイスを言ってくださるので、私は体育が苦手ですが、しっかり取り組むことができます。
- 開脚跳びでは、1回も失敗しないで、着地もしっかりできたのでうれしかったです。台上前転では、2段は低すぎて少し怖かったけど、まっすぐ回ることができて、4段もまっすぐ回れて良かったです。土屋先生と交流を深めることができて良かったです。

- 担任の先生ではなく体育専門の土屋先生に教えてもらえるので、跳び箱も怖がらずにできたので良かったけど、進化ゲームや猫ちゃん体操に時間を使ってしまって、肝心の跳び箱を跳ぶ時間が少なかったのは残念です。
- 4月から土屋先生が来てくださっています。土屋先生は中学校の先生なのにわざわざ上小に教えに来てくれて感謝しています。

私は跳び箱はやっていないけど、クラスみんなが「台上前転」などをしているのを見て、自分も勉強になりました。また、めあてにそって跳び箱をやることについて、自分の苦手な跳び方が分かるので、また挑戦しようという意識がもてました。
- 中学校の先生が分かりやすく手の付く場所や踏み切りの方法を教えてくれるので、5年生の頃にはできなかった台上前転や開脚跳びもできるようになりました。また跳び箱が楽しく感じました。
- 土屋先生が見本を見せてくれて台上前転、開脚跳び、抱え込み跳びができました。面白い体操がけっこう跳び箱につながっていてびっくりしました。とても楽しい授業ができたと思いました。
- 久しぶりに台上前転をやって、台上前転ができるようになって、次は高い段で台上前転をできるようにしたいと思いました。土屋先生は、中学校の先生なので教えるレベルも高いし、すごく説明も分かりやすいから体育ができるようになりました。
- 私は跳び箱の上で回ったことがないので緊張しました。また研究授業ではたくさんの先生方が来ていたので、余計に緊張してしまいました。ですが、土屋先生と遠藤先生が丁寧に教えてくださったので、台上前転ができるようになり嬉しかったです。また、今回は美しく跳ぶことがめあてだったので、美しく跳べてよかったです。
- 研究授業のめあては、台上前転を美しく跳ぶようにしようでした。私はめあてを意識して跳ぶことができたと思いました。土屋先生が来てくれたことは、とてもありがたいと思っています。理由は小学校には体育の専門の先生がいないので、詳しく教えてくれたからです。
- 開脚跳びは成功し、美しい形で着地するよう努力することができました。進化ゲームと跳び箱が結び付いていることが分かりました。台上前転は慣れてきました。土屋先生がいらっしやると授業が分かりやすくなるので良かったです。
- 中学校の体育の先生に指導してもらい簡単に跳べるようになりました。台上前転のコツを教わりすぐにできるようになりました。
- 台上前転で跳ぶ事だけに集中してしまい、「美しく」というのがちゃんとできていませんでした。やはり思いきり跳び、きちんと姿勢を正してやらなければ「美しい」と思えないのだと思い

ました。土屋先生が来て、普段あまりやらない運動などを聞けたりして、新しい体験ができて面白いと思いました。

- 台上前転のやり方は、分かるけどやるたびに失敗して台から落ちたりしているけど、土屋先生にアドバイスをもらおうと時々できたりするので、もっとアドバイスを生かして美しくかっこよく決められたらよいと思いました。
- 台上前転は楽にできました。台をマットの上だと思ってやるとすぐにできました。台をもっと高くしてやりたいと思いました。土屋先生が来てくださって、開脚跳びを少しできたり、進化ゲームを教えていただいたりして、とても楽しく体育の授業ができました。
- 体育の跳び箱で開脚跳びをきれいに跳んで着地をしっかりとすると、とてもきれいに見えることが分かりました。その他にもたくさんの注意や跳び方について土屋先生が教えてくれたので、分かりやすく良かったです。だからこれからも、体育の跳び箱の授業では教えていただいたことを考えて学習したいです。
- 私は土屋先生が来てくださることに感謝しています。それは、分かりやすくていねいに教えてくれるからです。研究授業では開脚跳びで恥ずかしいところを見せてしまったけど、前転では良いところをみせられたので良かったです。今度は3段、4段くらいで開脚跳びができるようになりたいです。
- 土屋先生が見本やアドバイスをしてくださるので、すごく授業が分かりやすいです。できなかつた時に自分なりに何が足りないのかが、すぐに分かって改めてできなかったことができるようになりました。これからも土屋先生にずっと来て欲しいです。

## 10 乗り入れ授業の成果と課題

### (1) 成果

- ・ 小・中学校の教員で乗り入れ授業を計画・実施することで、児童・生徒の実態を把握し指導方法の工夫・改善につなげることができた。特に外国語活動においては、小学校での指導を理解し、中学校での指導につなげることができた。
- ・ 中学校教員が6年生の乗り入れ授業を実施することにより、中学校進学への児童の不安を解消することができた。さらに、児童の興味や関心を中学校教員が把握することができ、今後の学習活動に生かすことができた。
- ・ 小・中学校の教員で授業研究を行うことができ、互いの授業スタイルや授業の視点、授業展開の相違点等、小・中学校でともに考えていかなければならないことを話し合うことにより、互いの指導観を共通理解することができた。
- ・ 互いに学校や児童・生徒の情報交換をし、共通理解をすることや小学校教員と中学校教員がTTを経験することにより、小中一貫教育に対する連携が大きく前進した。

### (2) 課題

- ・ 乗り入れ授業のための授業準備、学習指導案作成、指導後の反省等の時間の確保が難しかった。時間割も調整したが、互いの学校の行事や定期考査等もあり、指導計画の作成に苦労した。
- ・ 乗り入れ授業を実施するにあたり、時間割の変更や授業場所の確保、体育（保健体育）に関しては、小中連携支援講師（区費）が必要となる等、効果的に実践するために費用や準備のための時間がかかった。乗り入れ授業を実践するための検討システムをスリム化し、簡単に実施できるような体制を整える必要がある。
- ・ 乗り入れ授業を実施していたが、その内容を全体に発信するのが難しかった。どのように進められているのか担当者だけしか分からないこともあった。乗り入れ授業だよりの発行や定期的に研修会を実施する必要があった。
- ・ 乗り入れ授業の効果の検証方法として、児童・生徒アンケートや児童の感想文等を活用したが、体力や学力の向上についても具体的に検証する必要があった。

平成25年度小中連携推進教員（連携クリエイター）研修（第2回）資料  
平成24・25年度小中一貫教育乗り入れ授業報告

平成25年12月19日

練馬区立上石神井小学校  
練馬区立上石神井中学校  
練馬区教育委員会教育振興部教育企画課  
同 教育指導課

東京都練馬区豊玉北6-12-1

電話 03(3993)1111(代表)

ファクシ 03(3993)1196

